

ITコーディネーターは 何をしてくれるのか

情報化へのステップ

前節までは、経営革新およびIT化への取組みにより、企業にどのような効果が表れたかを紹介した。今度は、そのプロセスに着目してみよう。三企業ともITコーディネーターが関与しているが、ITコーディネーターによるコンサルティングとは実際にどのようなことを行うのだろうか。

フジ矢の野崎社長は「まず経営方針と経営目標の策定から始まり、それを具体的な行動に落としとして社員で共有する。これがしっかりしていた



ので、皆がITの過程で自分の仕事を整理できた。ITコーディネーターなしでは絶対にできなかった」と振り返る。その過程では自社の強みと弱み、機会と脅威を正しく捉えるための手法「SWOT分析」も行ったという。

アルプス物産の原専務もITSSPの経営者研修会を通じてSWOT分析を体験した。「経営分析といっても最初は難しくてよくわからなかったが、この体験で目的意識が生まれた」という。「ITSSPの研修会は経営革新を進めるうえで得ることが多い」とITコーディネーターの松崎氏に勧められての参加だったそうだが、IT化の前提となる経営分析の必要性を十分理解できたという。

社員の参加意識も成功へのカギになる

目標がITの新規導入ではなく、導入したIT（グループウェア）の

活用推進であったプリモ販売では、ソフトを利用する社員の意識を重視。ITコーディネーターの恩村氏は意見を押し付けることなく、従業員の意見を吸い上げることに徹した。グループウェア利用推進リーダーの工藤氏を始めとした三名の社員のみが集まる会議を開き、批判を禁止する方法（ブレインストーミング）で意見を収集、問題点を明らかにしていた。この際、社長には進捗状況を適宜報告する方法をとったそう。

IT化の過程においても従業員

ITコーディネーター紹介①



恩村 政雄氏
OBCC (Onmura・ビジネス・クリエイティブ・コンサルタンツ)

中小企業診断士をはじめ複数の資格を併せ持ち、資格を通じたネットワークが豊富。

グループウェアの利用率を高めたいという課題を持ったプリモ販売のコンサルティングでは、従業員が自ら意見を出し積極的に動ける体制づくりに尽力。社員の総意をくみ上げながら、仕組み作りを支援した。プロジェクト進行中は社員会議を月2回、社長への経過報告を月1回というペースだった。

ITコーディネーターは「社長の言いにくいことを代弁する」存在と認識。コンサルティングの際は相互理解を深めるために、問題点の文書化を徹底している。同社のコンサルティング第二フェーズは基幹業務改革である。

お問い合わせ
ITC近畿会
URL: <http://itc-kinkikai.org/>

ITコーディネーター紹介②



松崎堅太郎氏
松崎堅太郎事務所

長野県駒ヶ根市で公認会計士・税理士として活躍。会社の規模や予算にあった最適なシステム提案を心がける。

顧問先のアルプス物産では、ITコーディネーターとして業務ソフトの導入による業務効率化をサポート。さらに経営改革支援の一環として、経営革新支援法の申請を提案した。申請窓口である県地方事務所とのやりとりを始め、書類作成の相談にもきめ細かく対応した。

同社の原専務には、ITSSPの経営者研修会への参加を進めるなど、社外の専門家紹介も積極的に行う。原専務は「松崎先生を通じて様々な体験ができ、何事にも自ら率先して取り組むようになりました」とその活動を評価している。

お問い合わせ
長野県ITコーディネーター協議会
代表幹事 荒井 綏
〒380-0802 長野県長野市上松1-12-13
電話 (& FAX): (026) 237-2131
Eメール: yarai@nisiq.net
URL: <http://www.m-shinano.com/itc-nagano/>

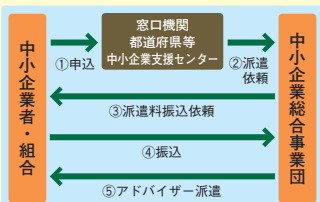
体となつて行方議論は、社員が主体性を持ち、意識改革を行うことにつながる。川端氏が「実際にITを使う現場の方々が参加意識を持てば、合わないシステムができてあがることはない」というとおり、フジ矢では、このプロセスを通じ皆が業務の流れを理解したことで、社員間のコミュニケーションが以前より増すこととなった。

以上のように、ITコーディネーターの活用は、ITに関わる相談のみならず、社内の活性化や経営革新へのナビゲーターとして、十分なメリットが実感されているようだ。ITコーディネーターと出会うには、ITSSP事業や地方公共団体(外

ITコーディネータを試してみたいなら

中小企業総合事業団のIT推進アドバイザー派遣事業へ

●費用の3分の2は補助されるので
アドバイザー派遣料1人 1日15,000円



中小企業総合事業団
情報・技術部情報指導課
〒105-8453
東京都港区虎ノ門3-5-1
虎ノ門37森ビル
TEL:03-5470-1518 (直通)
FAX:03-3433-8867
e-mail: it-ad@jasmec.go.jp
<http://www.jasmec.go.jp/>

ITコーディネーター紹介③



川端 一輝氏
ITC-Labo主催

ITコーディネーターのプロフェッショナルとして、多数の経営改革支援実績を持つ。主催しているITC-Laboでは、メンバーであるITコーディネーターによる経営者コンサルティングを行っているほか、ITコーディネーター向けの研修活動も実施するなど「ITコーディネーターの学習機関」としての役割も果たしている。

生産管理システムを導入したフジ矢のコンサルティングでは、ITありきではなく経営方針・経営目標の策定からスタート。社員が当事者意識をもって自分で考えることが成功につながるという方針のもと、現場担当者中心の会議を重ねる過程で、社員の意識改革に成功した。

これからのIT導入は「どんなソフトがいいか」ではなく、「どんなITコーディネーターがいいか」から始まるという。

お問い合わせ
ITC-Labo
〒541-0056
大阪府大阪市中央区久太郎町1-6-13
船場大成ビル8F
電話: 06-4964-8660
URL: <http://www.itc-labo.com/>
Eメール: info@itc-labo.com

000円で利用できる。申し込みは都道府県の中小企業支援センターでも受け付けている。経営とITの両方に精通するITコーディネーターを味方につけ、経営革新への一歩を進めよう。



時には有効

郭団体)が主催する研修会やセミナーに参加することが近道だが、中小企業総合事業団の「IT推進アドバイザー派遣」を利用するのも便利だ。ここでは、専門家派遣にかかる費用の3分の2が補助され、一人1日15、